

警察署協議会議事録

協議会名	令和5年第2回宮城県石巻警察署協議会
開催日時	令和5年8月1日（火）午後3時30分から 午後4時45分まで
開催場所	石巻警察署 3階大会議室
出席者等	<p>1 協議会委員～10人 出席委員～土井会長、大友副会長、島貫委員、片岡委員、赤間委員、甲谷委員、武田委員、山本委員、白出委員、大森委員</p> <p>2 警察署側～16人 署長、副署長、刑事官、副参事、会計課長、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事第一課長、交通課長、警備課長、少年健全育成官、水上警備派出所長、刑事第二課係長、警務係長</p>
議事概要	別紙のとおり
備考	

備考 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、添付すること。

【別 紙】

第1 報告事項

1 石巻警察署管内の治安概況について

【署長】

- (1) 刑法犯認知・検挙状況（令和5年6月末現在）
 - ア 認知件数470件（前年同期比+90件）
 - (ア) 凶悪犯及び風俗犯の件数が顕著に増加した。
 - (イ) 自転車盗や車上ねらい、工事場ねらい等の屋外における窃盗事件が増加した。
 - イ 検挙件数220件（前年同期比+18件）
 - (ア) 検挙の多くは窃盗犯であり、多くの被疑者を検挙するとともに余罪を追究して事件解決を図っている。
 - (イ) 凶悪犯と粗暴犯は県民の生命身体に危害を加える犯罪であることから、発生直後の初動捜査を徹底して検挙につなげている。
- (2) 特殊詐欺被害状況（令和5年6月末現在）
 - ア 発生件数6件（前年同期比+4件）
 - イ 被害金額合計約735万円（前年同期比+約535万円）
- (3) 非行少年等の検挙・補導状況（令和5年6月末現在）
 - ア 非行少年等の検挙・補導総数294人（前年同期比+98人）
 - イ 全刑法犯検挙人員及び刑法犯触法少年補導人員128人のうち、少年の割合は14.1パーセント（前年同期比+9.8ポイント）
 - ウ 初発型非行は、刑法犯で検挙・補導された少年の半数を占めている。
 - エ 不良行為少年の補導のうち、学識別では高校生が約半数、中学生が約3割を占め、行為別では深夜はいかいが約半数を占めている。
- (4) 交通事故発生状況（令和5年6月末現在）
 - ア 人身交通事故101件（前年同期比-11件）
 - イ 交通死亡事故2件2人（前年同期比-3件-3人）
 - (ア) 上半期は人身事故件数、死亡事故件数、負傷者数、物件事数件数のいずれも前年より減少した。
 - (イ) 4月から5月にかけて、新入学児童対策、行楽期対策、春の交通安全運動などの特別対策を実施し、自治体をはじめ交通関係機関・団体による交通安全活動にも後押しされ、事故抑止に一定の成果を示すことができた。
- (5) 主な交通違反取締り状況
 - ア 交通違反取締り総件数2,826件（前年同期比+195件）
 - イ 飲酒運転検挙数が23件（前年同期比+6件）と増加した。
 - ウ 最高速度違反取締りは405件（前年同期比+177件）と増加した。
速度超過違反取締りを強化した結果、交通事故の発生が前年よりも減少し、一定の成果が認められた。
 - エ 交差点関連違反は一時不停止違反が前年を大きく上回った。

第2 協議事項

1 特殊詐欺被害防止に向けた施策の展開について

【署長】

(1) 特殊詐欺発生状況（令和5年6月末現在）

ア 発生件数6件（前年同期比+4件）

イ 被害金額合計約735万円（前年同期比+約535万円）

(ア) 手口は、孫を装ったオレオレ詐欺、パソコンのウイルス感染被害名目の架空料金請求詐欺、融資保証金詐欺であった。

(イ) 被害者の平均年齢は67歳であった。

(ウ) 被害防止に向けてプロジェクトチームを立ち上げ、挙署一体となって取り組んでいる。

(2) 特殊詐欺検挙状況

ア 検挙件数6件（前年同期比±0件）

イ 主な検挙

(ア) 市役所職員や警察官をかたり現金をだまし取ったオレオレ詐欺の受け子

(イ) だまし取ったキャッシュカードで現金を引き出した出し子

(ウ) 特殊詐欺犯人に口座を譲り渡したベトナム人

(3) 石巻警察署特殊詐欺対策PT（プロジェクトチーム）について

ア 石巻警察署特殊詐欺対策PTの設立

本年4月1日付けで、上記プロジェクトチームを立ち上げた。

イ 各対策の推進状況

(ア) 被害防止対策

a 電子マネーカード販売店に対する購入者への利用目的確認の徹底の呼びかけ

b 注意喚起を促す広告物の掲示の協力依頼

c 店側からの声掛けの推進

d 高齢者に対する被害防止広報

(イ) 少年を加担させない取組

a 県内で初めて、高校生による「特殊詐欺加担防止宣言」を企画し、高校生の規範意識と防犯意識の向上を図っている。

b 中高生を対象とした少年警察補導員による特殊詐欺加担防止講話を実施している。

c 地区の少年補導員、健全育成ボランティア、大学生ボランティアと連携した取組を実施予定

(ウ) 犯行ツール対策

a 口座を譲り渡した者の検挙

b 電話対策

(a) 犯罪に使用された電話番号への警察からの警告の実施

(b) 携帯電話会社に対して、犯罪に使用された電話番号の解約を働き掛け、物理的に使用できないようにする取組を実施

2 速度取締り指針等について

【交通課長】

(1) 石巻警察署の速度取締り重点・交通事故実態等・速度違反以外の取締り警戒活動について説明を行った。

ア 下半期における速度取締り重点

(ア) 重点区域

- a 石巻西部・東松島区域（石巻市蛇田、東松島市赤井・矢本地区ほか）
- b 石巻中心部・東部区域（石巻市中心部、渡波地区ほか）
- c 河南区域（石巻市北村、須江地区ほか）

(イ) 重点路線

- a 国道45号及び周辺道路
- b 国道398号及び周辺道路
- c 国道108号及び周辺道路

イ 石巻警察署管内における交通事故実態等

(ア) 交通量の多い国道45号、国道398号での発生が特に多い。

(イ) 8時から12時、16時から18時の時間帯が特に多い。

ウ 速度違反以外の取締りや警戒活動

(ア) 繁華街を中心とした飲酒運転取締りの強化

(イ) 横断歩行者妨害違反取締りの強化による歩行者の保護

(ウ) 薄暮時間帯におけるパトロールの強化

【署長】

(2) 委員からの質問

ア 委員から、一方通行路等進入禁止路線へ進入する車両に対する対策について質問があり、説明を行った。

イ 委員から、わん曲した標識に関する質問があり、説明を行った。

ウ 委員から、歩車分離式信号機の要否に関する質問があり、説明を行った。

第3 事務連絡

次回、令和5年第3回の警察署協議会の開催については、10月頃の開催で調整することとした。